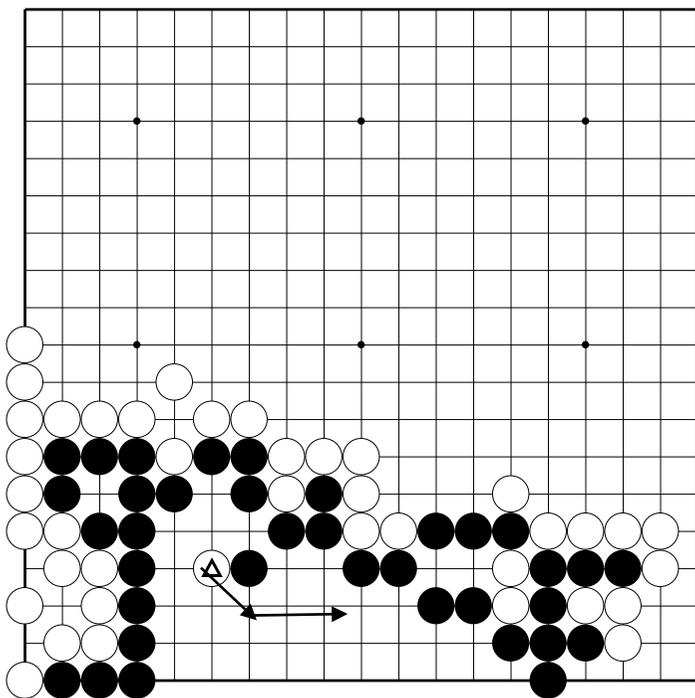
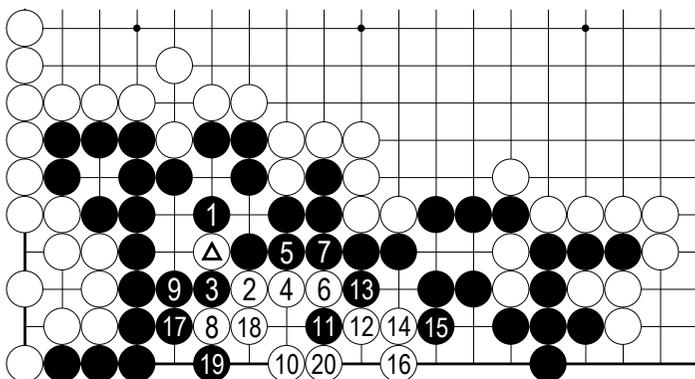


# 10月1日 沙羅 VS 顕成



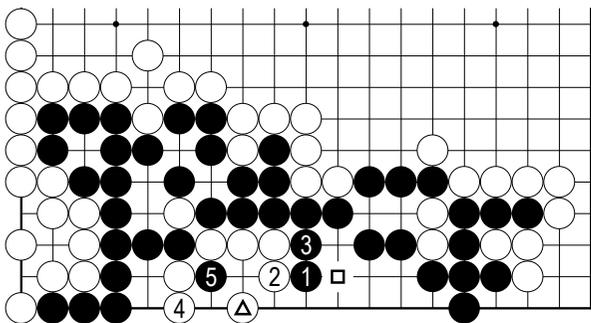
第1図  
△と妙なところに入ってきました。手を抜いても生きることにはできないので全然問題ないのですが・・・一応相手しましょう。

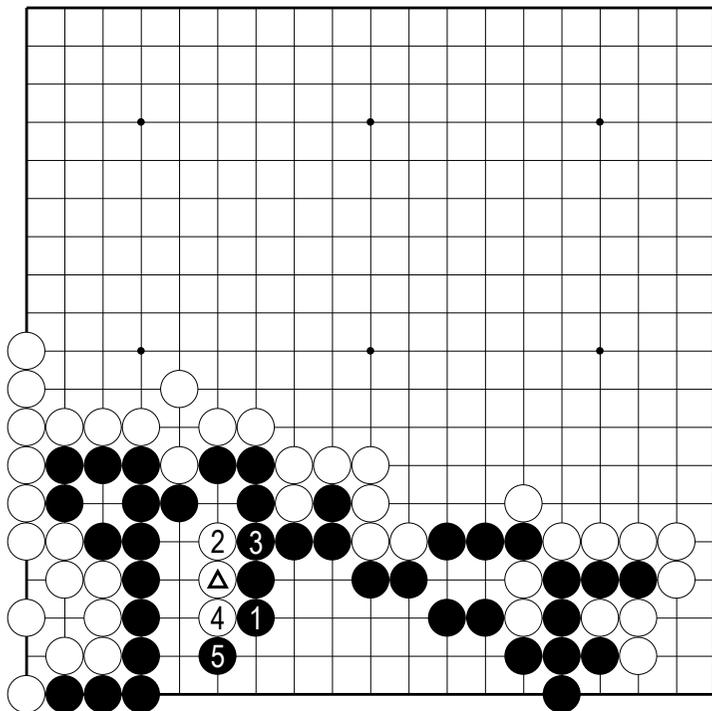
白としては→方向に進んでいきたいという気持ちがあります。



第2図  
実戦の進行  
白は2, 4, 6 と右に進んでいき8のアテを打つとなんだか下辺に白眼が作れそうな雰囲気になってきました。

11が深入りで眼を作るお手伝いになってしまいました。1と一歩控えていれば白死にです。



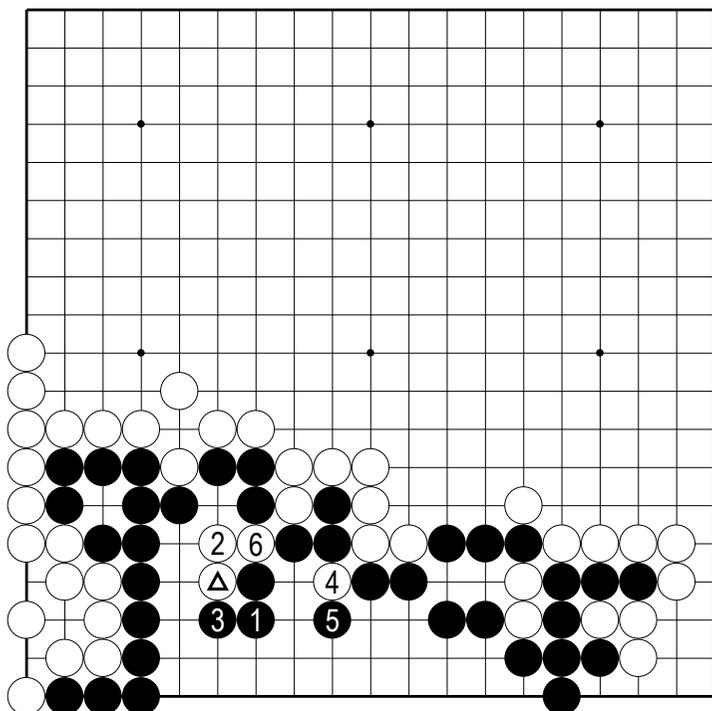


### 第3図

下に潜らせなければよい。

1のサガリが确实です。

2のノゾキにも3とがっちりつないで白何もできません。



### 第4図

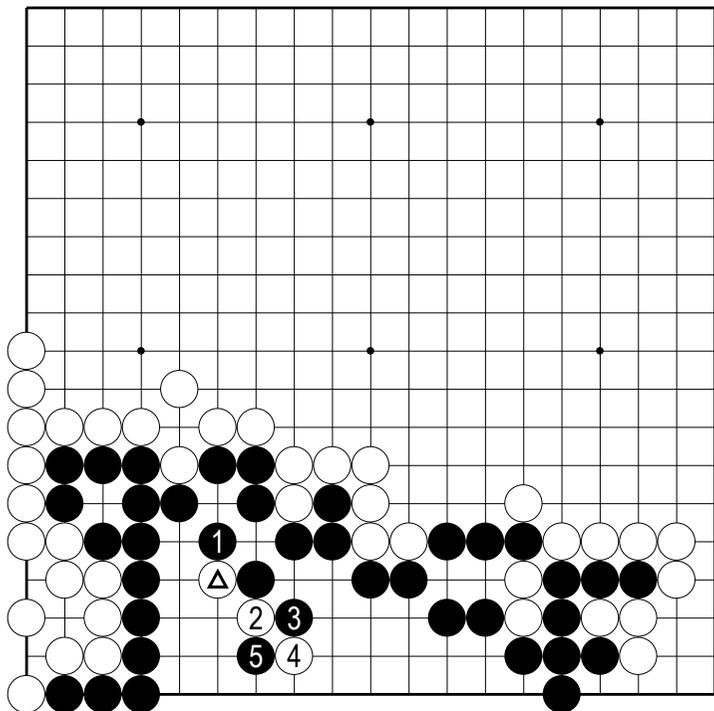
よくあるだまされるパターン

2に3と受けても大丈夫ですが4の切りには要注意。

うっかり5とアタリすると6の両アタリで泣きたくなります(笑)

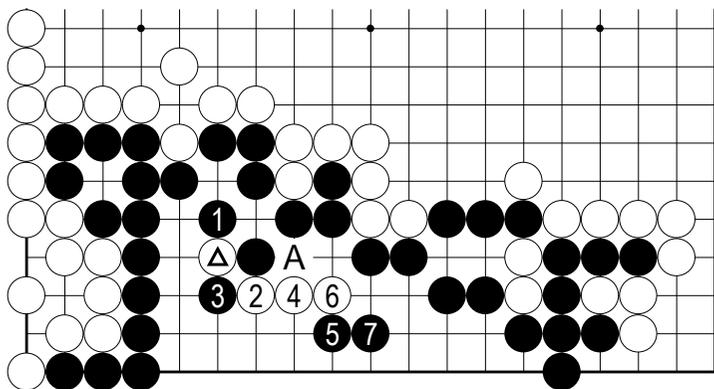
5は6のツギですね。

これは引っかかる方が軽率。



### 第5図

△に対して実戦の1でもよいのですが2のハネには白を右に進ませないように3のオサエがよかった。4には5の切りで問題ありません。



### 第6図

4と右に進ませてもこれ以上右に行かせなければよいです。5が好手。また6に対して7のヒキが冷静です。白Aのアタリはつなげばよいのであまり気にする必要がありませんでした。また5で下図1のサガリも好手です。2と右に進んでも眼はできません。

